



白熱の一戦！(中学校運動会)

# おいしいだ 議会だより

No. 166

2020.10.25

山形県大石田町ホームページ  
<https://www.town.oishida.yamagata.jp>



携帯・スマホから  
アクセス！

◆第3回定例会  
(9月14日~24日)

◇第5回臨時会  
(7月28日)

7月豪雨災害を振り返る	2
大石田町議会政策提言書を提出	4
令和元年度決算認定	6
町の考えを問う 5議員が一般質問	12
地域振興公社応援企画/そば処ふうりゅう	20

発行 山形県大石田町議会

発行/山形県大石田町議会

発行責任者/議長 芳賀 清

編集/広報常任委員会・〒994-112 大石田町緑町一番地

☎0237-352111

◆印刷 (株)印刷文化堂

## 地域振興公社応援企画

### そば処 ふうりゅう

★そば粉は全て地元産100%の石臼挽きのそばです。細麺仕上げで幅広い年代の方にお召し上がりいただけます。

★いつでも打ち立てのおそばを提供しています。

★もうすぐ新そばの季節です！家族、友人お誘いあわせの上、ぜひ食べに来てください！



**どんなお店ですか**  
 電車の発着が見られるのを  
 楽しみにしているお客様や、  
 ビジネスマン・観光客から多  
 く来店いただいています。  
**営業する中で大変なことは**  
 電車や新幹線利用のお客様  
 が多いので、発車の時間に間  
 に合うように、提供しなけれ  
 ばならないところです。  
**町民へメッセージ**  
 駅舎や電車の利用だけでな  
 く、どなたでも気軽に食べに  
 来てください。



窓から新幹線が見えます！



そば打ちが見られる店内



天ぷら板そば1,350円

### そば処 ふうりゅう

- ◆住所/大石田町大石田駅舎内
- ◆電話/0237-36-1516
- ◆営業時間/11:00~14:30  
(14:00ラストオーダー)
- ◆定休日/無休

#### 議員のコメント

駅舎内にありながら、「来迎寺在来」にこだわった本格的なそばを楽しむことができるお店です。また、店内やスタッフも穏やかで、ゆつくりとくつろげる空間でもあります。そんな雰囲気も、大石田ならではのものと感じました。

町民一丸となって「大石田のそば」を盛り上げていければと切に願う今日この頃です。

【記 二藤部】

- ◆広報常任委員会
- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 岡崎 英和 |
| 副委員長 | 小玉 勇  |
| 委員   | 二藤部冬馬 |
| 委員   | 今野 雅信 |
| 委員   | 大山 二郎 |

豪雪地帯の大石田、その後を考えれば、雪が少なく寒い冬を手放しで喜んでもいられないことを痛感させられた。やはり例年並みの降雪がなければ、どこかにし寄せが来るように思われる。

来たる2021年は普通に雪が降り、町民にとって穏やかな年になってもらいたい。【記 岡崎】

#### 編集後記

2020年も残すところ2か月となった。人類がかつて経験したことのない「新型コロナウイルス感染症」の世界的流行や、町のシンボルともいえる大橋をのみ込んだ最上川の増水など、激動の年であった。有史上初めての事柄は、過去に例のない「少雪暖冬」から始まった1年だったと言える。

# 7月豪雨災害を振り返る 3か月経過し 見えてくるもの

**まめ知識**

○**溢水** 堤防のないところで水があふれること。

○**越水** 増水した河川の水が堤防の高さを超えてあふれ出ること。



大量の災害ゴミ



最上川からの溢水により、これまでにない増水(豊田舟渡地区)



豊田舟渡地区 ～西側を見る～

## 大石田町初の災害ボランティアセンター設置



山形青年会議所様から 支援物資を受け取るセンター長

自助・共助・公助の助け合いで、温かい雰囲気の中で、ボランティアセンターを運営することができましたこと、お礼申し上げます。

被災後断水になり、衛生面の確保ができない状態で、ボランティアセンター設置が決まりました。感染症予防の観点から、大々的にボランティア募集もできません。それにもかかわらず、大石田町で働く中学校の先生・保育園の先生・建設業協会など直ぐにかけつけていただき、本当に助かりました。

初めて設置したボランティアセンターで、町民の皆様にご不便等があったと思います。今後、同じような災害等は想像したくありませんが、反省点を共有・改善し、整備していきますので、ご教示いただければと思います。

災害ボランティアセンター長 佐藤美保子



高校生ボランティアも大活躍



多くのボランティアに助けられました

### 豊田区長に聞く

7月28日はどんな一日でしたか。

用事を終え丹生川の堤防を車で通った時、異常な雨で「もしや」と不安がよぎりました。夕方6時頃公民館を開け準備をしました。避難勧告・避難指示の後、サイレンの音が住民に避難する決心を与えたように思います。

舟渡地区14軒全戸が床下浸水になったのですが、豊田全体で公民館には10数名、北小と中学校及び親戚等に100名程度避難しました。しかし、足腰が悪い方や高齢の方など、家の2階に垂直避難した世帯も数件ありました。

区長自身は避難しましたか。

29日午前2時頃まで亀井田橋で川の水位を見ていました。消防団から退避するように何度も言われましたが、区長の立場を考えると近隣の状況を見る必要もあり、避難所に行くことができませんでした。軽率の誤を受ける行為だったかもしれません。その後、家の周辺一帯50センチの深さで水が流れていて「ハッ」としました。ようやく自宅の2階に垂直避難をしました。今でも「ゴー」という水の音が頭に残っています。

避難した人たちは何時頃帰ってきましたか。

朝5時頃周辺の水は引け、6時頃から後片付けが始まりました。被災してない近所の人たちがみんな手伝ってくれ、数日で何とか片付いたようです。これだと思ったのは「共助」近所であるということでした。

また、ボランティアの人たち大勢に助け

いただいた、本当に地区民全員感謝しています。地区を代表してお礼を申し上げます。

今回の災害を受けこれからは、

堤防が完成して以来50年ほどになりますが、旧小学校の方から川の水があふれたのは初めてです。常日頃洪水や地震について、事あるごとに話をしてきました。少しは役に立ったかなと思います。今年、コロナのため地区民の飲食会はできずにいますが、これからも機会があれば、今回の水害について地区民に報告し、今後のことに役立



取材を受けてくれた豊田区長芳賀清一さん。ご協力ありがとうございました。

10月6日インタビュー【記 小玉】

私達は、極力人の世話にはならず、迷惑はかけずと思いつつ生活している。しかしある限度を越えた時、個人の無力さを感じてしまう。気が挫げ、投げやりになることもある。

こんな時、人々の励ましと手助けが必要になる。不安な心を取り除くために。7月の水害では、各区長、消防団員の方々は、住民と自分自身の安全との間に激しいジレンマもあったに違いありません。御苦勞様でした。【記 小玉】

# こころ豊かに幸せ感じるまちに!

## 産業振興

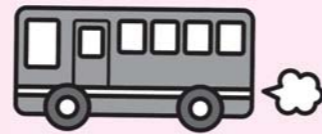
- 新規就農者や農業者向けの助成事業に、より一層取り組むこと。
- 「すいか」「そば」など食文化をアピールし、交流人口の増加や地域経済の活性化を図ること。
- 農産物の直売所は地産地消の拠点、新しい産業の掘り起こしを。
- メガソーラー建設の進捗状況は、町民に周知すること。
- 交流人口の拡大に積極的に取り組むこと。
- 新型コロナウイルスの影響により町の商工業者は多大な被害を受けている。最大限の援助を。

## 災害対応

- 防災放送難聴地区の解消を。SNSを活用した情報伝達を。
- 水害に備え、築堤、内水処理機能の拡充、避難所など施設の充実を。自主防災意識の向上を促し、被災した家屋、農地等、早く元の生活に戻れるよう最大限の努力を。

## 福祉関係

- 福祉バスへの町民の意向を的確に把握し、運行内容を検討し利便性を高めること。



## 道路関係

- 冬期間緊急車両が通れない箇所がある。住民の利便性を図るため、早急に改良工事を行うこと。



## 教育関係

- 南小学校、北小学校に複式学級が編制されている。早急に統合小学校整備計画を策定すること。



「政策提言書」全文は町ホームページをご覧ください。  
<https://www.town.oishida.yamagata.jp>

## 総合政策

- 定住促進や子育て支援の充実を計画的に実施し、人口減少の歯止めと活性化を図ること。
- インターネットを活用できる環境整備を図り、県内外にPRすること。移住希望者などが町の情報や補助事業等を相談できる総合窓口設置を。
- 流雪溝整備の代替となる除雪方法を検討すること。高齢者向け間口除雪の充実を。
- 新たな町営住宅等の整備や有効な土地活用を。
- 空き家の適正管理と危険空き家の排除に努めること。
- 議員のなり手不足解消のために、女性や若者が議員として活躍できるよう環境整備を。

「町民第一」を掲げた村岡町政が昨年11月にスタートした。町民目線の町政を心がけ、人口減少と地方創生に向けて事業の具現化に取り組んでいるところである。

大石田町議会は二元代表制のもと、町民の意思を反映し開かれた議会を目指すため、平成25年3月に議会基本条例を制定した。

今年は新型コロナウイルスの影響により、各地区での議会報告会を開催できなかったが、日ごろの議員活動の中から町民の意向を取りまとめ、行政運営の更なる充実を求めるため提言するものである。

# 大石田町議会政策提言書を提出



町民の暮らしを守るため町へ提出(9/24議場)

### 「政策提言書」提出にあたり

今年の大石田町は、談合事件に始まり、新型コロナウイルスの影響を受け経済が停滞している中、今までに経験したことがない水害に見舞われるなど、大変な一年になろうとしています。そのような様々な情勢であっても、町民の生活は日々続いています。

議会基本条例では、議会報告会を開催することが定められていますが、今年は新型コロナウイルスの影響で実施できませんでした。しかし、町民の生活を守るため、議会の歩みを止めるわけにはいきません。

大石田町議会は町民の生活を守るため、町が行なわなければならない政策をまとめ提言書を提出しました。前回の検証では、評価するとされたのが、わずか2項目にとどまりました。

今回は6分野17項目にまとめた提言書です。どれも町民にとって大事な提言ですので、すべてが評価されるよう、我々議会、そして町執行部も不転の決意で臨まなければなりません。

【議会活性化検討特別委員会

委員長 大山二郎】

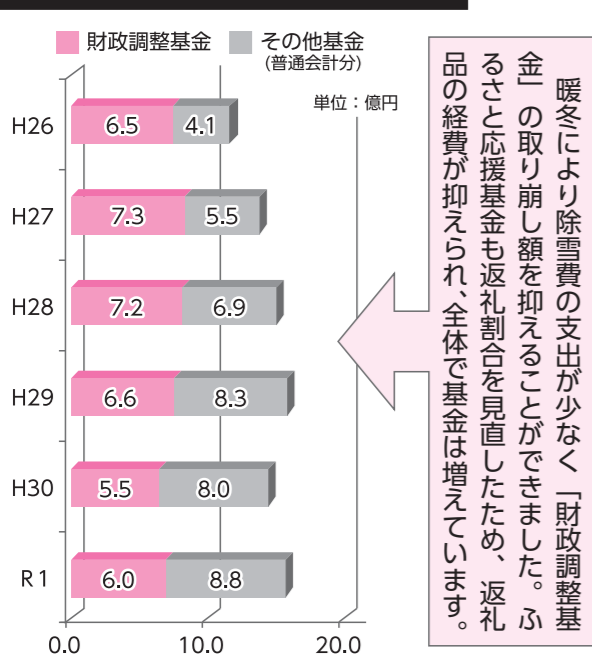
# 令和元年度決算

## 記録的暖冬により除雪

第3回定例会は、9月14日から24日までの11日間の会期で開かれ、令和2年度補正予算や令和元年度決算などの審議を行いました。  
 決算は特別委員会を設置し詳細に審査。その結果、全議案について全員賛成で認定しました。

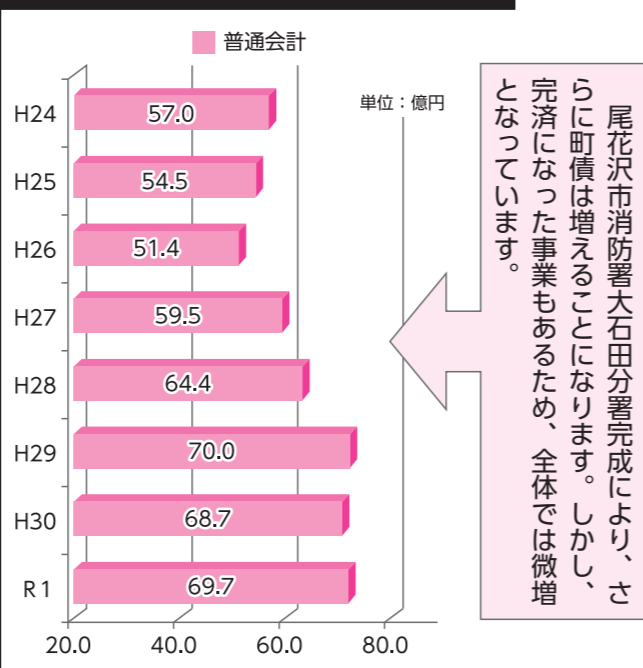


### 基金(貯金)残高の推移



暖冬により除雪費の支出が少なく、「財政調整基金」の取り崩し額を抑えることができました。ふるさと応援基金も返礼割合を見直したため、返礼品の経費が抑えられ、全体で基金は増えています。

### 町債(借入金)残高の推移

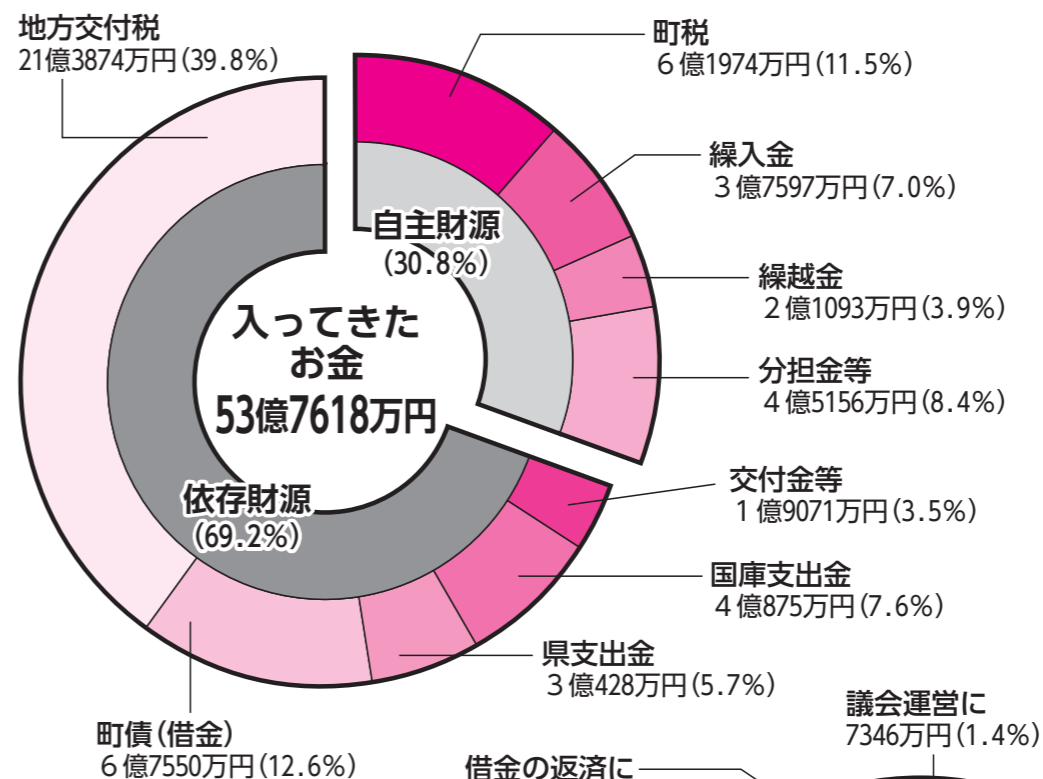


尾花沢市消防署大石田分署完成により、さらに町債は増えることになりました。しかし、完済になった事業もあるため、全体では微増となっています。

## 費用が大きく減額!

### 少雪に助けられ歳出が減

#### 一般会計歳入歳出決算



町民交流センターの借入金返済始まるが、大石田分署完成で更に借入金増

**【自主財源】**  
町税や繰越金など、町が独自に調達したお金。

**【依存財源】**  
地方交付税や国庫支出金など、国・県から定められた金額が交付されるお金。

### たばこ税・入湯税が大きく減! 「令和元年度町税」決算額と収納率

区分	R1 決算額	前年度比
町民税	2億6596万円	▲1074万円
固定資産税	3億27万円	▲68万円
軽自動車税	2666万円	111万円
たばこ税	422万円	▲347万円
鉦産税	36万円	▲1万円
入湯税	438万円	▲702万円
都市計画税	1789万円	▲13万円
合計	6億1974万円	▲2094万円

町税は、自主財源の約3分の1を占めています。町の収入としてはとても大切なお金です。軽自動車税を除く、全ての税が減額しています。たばこ税は、受動喫煙防止の取組み強化などにより45.2%減額。入湯税は、令和元年7月から課税免除したため、大きく減額となっています。

収納率は3年連続でダウン。だけど、高い収納率!

年度	H27	H28	H29	H30	R1
収納率	96.4%	96.9%	96.6%	96.5%	96.2%

# 令和元年度決算を「総括・検証」

## 新体制激動のスタート!



### 一般会計 〔全員賛成〕

#### 老人クラブ

村形 昌一 委員

高齢化率が上がる中、3地区の老人クラブが廃止しているが、町長 減っている要因があるが、時代にあった活動なども考えていかなければと思う。

#### クロカルチャープラザ

大山 二郎 委員

展示室への来館者が少ないが、今後どのように活用していくのか。

町長 来館者が少ないからといって別の活用は考えていない。職人文化の歴史資料なので観光客や勉強の場で上手く利用していきたい。

#### スポーツクラブ事業

村形 昌一 委員

会員数も減っている。活動の盛り上がりなどをどうしていくのか。

町長 組織の活性化が課題。大石田町に合ったやり方を模索し、組織を変えていきたい。今後、スポーツクラブの役割は大きくなっていく。

#### 移住定住

大山 二郎 委員

移住定住の人材確保と空き家対策の協議会は、情報共有していくべき。

町長 リンクさせながら会議や内容を進めていく。

#### 地域振興公社

大山 二郎 委員

ふりゅうの経営は利益を出している。更新する備品はふりゅうで揃えるべきでは。

副町長 協定書に基づき、町で備品を更新している。公社全体では経営が厳しいので、引き続き町で購入していただきたい。

#### 少子化問題

岡崎 英和 委員

子どもの数は、町の将来、未来予想図を想定するパロメーター。手厚く出産をサポートするなど大切な町政を目指しては

町長 継続的な子育て政策が必要。大石田町に住んで子育てしたいという場面を多く作っていく。

町からの補助ばかりでは、危機感がなく職員意識改革に甘えが出るのでは。副町長 ビジネス意識をもって企業活動をしなればと思う。コロナ禍の影響もあり経営が厳しい状況なので、町からの応援もいただきたい。いずれば経営を改善し、備品を自ら購入できるようになれたらと思う。

#### 商工会館

大山 二郎 委員

老朽化が激しく早期に移転・新築が必要だが、町として相談にのるのか。

町長 商工会からの要望や相談が来ていない。相談に来たらきちんとする。



職人文化の大切な資料 (クロカル展示室)

#### 消防団

今野 雅信 委員

小型積載車の配備が整い機動力が上がっているが、団員のなり手も不足している。団や団員の再編成の考えは。

町長 考えなければならぬ時期がくると思うが、現状はまだそういう状況ではない。自主防災組織と連携しながら災害に当たっていききたい。

#### 町ホームページ

二藤部 冬馬 委員

モバイルからのアクセスが全体の半数を超えている。モバイル用ホームページの充実を図っていくべきでは。

町長 各課で更新できる部分は更新し、大きく変える部分は業者と相談し、できることをやっていく。

#### 町民税

村形 昌一 委員

3年連続で収納率が減っている。来年はコロナ禍でさらに減っていくのではと思うが。

町長 納税相談員や徴収吏員には本場に頑張ってもらっている。来年度はさらに厳しい状況になると思うが粘り強く納入をお願いしていく。

町長 さまざまな形態を考えたままさまざまな形を考えたが、行っていくべき。

#### 虹のプラザ

大山 二郎 委員

舞台設備操作の経費削減のために職員に資格を取らせる考えは。

町長 どうすれば年間の経費を抑えられるか、今の形を変えた方がいいのか、見極めていきたい。

#### 旧次年子小学校

齋藤 公一 委員



今でも町のシンボル(旧次年子小学校校舎)

建物の老朽化が進み、屋根の塗装など個人の負担が増える。維持管理を含めて将来的な契約をしていくべきでは。

町長 町が未来永劫修繕費を持つというのは難しい。大型の修繕等は、当事者と話をしながら進めていく。

#### 国民健康保険特別会計 〔全員賛成〕

村形 昌一 委員

景気も悪く税負担が大きいと感じている町民が多いのでは。

町長 今回の災害において被災された方の納付の延長や減免等の対処をしている。

## 決算特別委員会



決算特別委員会委員長  
遠藤 宏司

決算特別委員会とは予算が適正に使われたかを審査するための委員会です。審査の結果、令和元年度決算は認定すべきものと決定し、議長に報告しました。

補正予算・条例審議



配備を待つ小型ポンプ

一般会計  
〔全員賛成〕

一藤部 冬馬 議員

**〔災〕** 害用の毛布、食料、飲料水等、次に備えて適正な確保を。近隣市町村より支援いただけるよう連携を。

町長 自治体が準備するのは当然だが、避難者が自分のものは自分で準備し避難所に来るような仕方も醸成していかなくてはならない。

今野 雅信 議員

**〔水〕** 害時、水没・修繕で小型ポンプ13台が使えない状況になったが、現在どのような状況か。

まちづくり推進課長 分団ごとポンプの配置を見直し、配備に空きがないようにしている。

小型ポンプの取得  
〔全員賛成〕

岡崎 英和 議員

**〔倍〕** の長さの吸管装備は高額なものではない。早急に取り組むべき。

町長 まずは繋いで倍の長さにする対応をしたい。不具合があればさらに対応する。

大山 二郎 議員

**〔入〕** 札なしで1者見積りだが、金額は妥当か。

まちづくり推進課長 今回は緊急であり、早急に納品してもらうため1

村形 昌一 議員

**〔災〕** 害応援協定について、経費負担等どのような現状か。

総務課長 大崎市、加美町、尾花沢市とは災害時相互応援に関する協定書を締結している。経費負担など、細かい部分は今後詰めていく必要がある。

**〔豪〕** 雨災害を経験して、防災教育はどのようになっているか。

教育長 自分の身を守るために日頃から用意しておく姿勢など、家庭と連携も踏まえて進めていかなければならない。



段ボールベッドの数は充分か

者随契になった。年度計画で更新するものは入札で行っている。

スクールバスの取得  
〔全員賛成〕

今野 雅信 議員

**〔乗〕** 車率が約80%（1台につき20名程度）は、密になっていないか。1地区の送迎を2回に分けて運行した方がいいのでは。

教育長 今の段階では、そこまで考えていない。今後、学校と連携を取りながら考えていく。

教育委員会委員の任命  
〔全員賛成〕

大山 二郎 議員

**〔各〕** 分野に合致した配置になっているのか。

教育長 保護者枠も設けており、当町では法に合致して任命している。

過去最大の水害 ~復旧に全力投球!

大山 二郎 議員

**〔指〕** 定避難所ではない田沢公民館などの開設もあったが、防災マップを整備しておく必要がある。

町長 3密の回避、指定避難所の考え方や行政と自主防災のあり方なども確認していく。

**〔川〕** 端地区、横山地区など床上・床下浸水した。今後排水ポンプの配置をどのように考えているのか。

町長 内水処理について必要な箇所が6箇所あり、自前の排水ポンプ・水中ポンプを整備していかなければならないと思う。

熊谷 富太郎 議員

**〔災〕** 害時、自主防災組織はどう動いたか。総務課長 町から自主防災組織への指示は行っていない。今後、機能、分担について検討していきたい。

タブレット端末の取得  
〔起立多数〕

岡崎 英和 議員

**〔タ〕** ブレット325台、保管庫24台は小学校の児童生徒数を勘案した台数か。ソフト面など問題はないか。

教育文化課長 平成30年度の98台と合わせて全ての児童生徒に割り当てられる。ソフト面は問題ないと聞いている。

村形 昌一 議員

**〔自〕** 宅に持ち帰って学習することはできるのか。

教育文化課長 持ち帰って宿題等をするのも想定内としている。

一藤部 冬馬 議員

**〔児〕** 児童生徒数の減少にタブレットは、教育文化課長 故障等への充当等、活用法を考えていく。



保管庫に入っているタブレット~充電中

小玉 勇 議員

**〔林〕** 道小平線の通行止め状況は。産業振興課長 当面全面通行止めです。

町長 町に連絡をしてもらえば、その期間だけ開けておきたい。

齋藤 公一 議員

**〔被〕** 災者への補助金はどのよう把握しているのか。建設課長 家屋調査、罹災証明等で全壊、半壊、一部破損かを確定する。半壊以上は修繕費用の4分の3、または45万円を上限に補助している。

遠藤 宏司 議員

**〔堤〕** 防が決壊した場合、避難所は確保できるか。

町長 堤防が決壊した場合1028世帯が避難しなければならぬ。「人命第一」が最優先と思う。

小玉 勇 議員

**〔落〕** 札価格が予定価格の91.5%になっているが妥当と考えるか。副町長 妥当かという判断は難しいが、仕組み上問題はない。

今野 雅信 議員

**〔更〕** 新はいつ頃を目途に行うのか。教育文化課長 対用年数は5年。今回は100%補助をもらえるが、今後は県に強く要望していく。



## 災害時における 避難のあり方は

今野 雅信 議員

### 町民一人ひとりの自助と 地域の協力による共助が不可欠

町 長

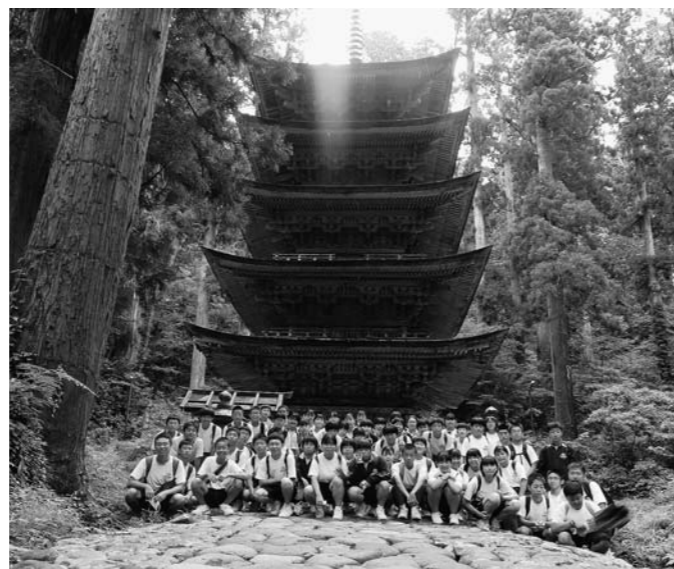


大好評！即日完売！  
プレミアム商品券販売(虹のプラザ)

**情報伝達と避難のあり方**  
町長 防災放送、エリアメール、HP、広報車などで情報を一律に発信するだけでは情報が届かない特別な配慮が必要な人もいた。今後は自主防災組織や民生委員児童委員の方々などの協力を得て情報伝達を行う。また、確実に町民に情報が届く

**今後の経済支援策・感染症対策**  
町長 新型コロナウイルスの収束が見えないなか継続的な支援が必要では。町長 プレミアム商品券や支援策など継続していききたい。国や県と連携を図りながら、その時々々の経済状況を勘案し柔軟に対応していく。

「テレフォンサービス」を検討している。



やっと行けた！修学旅行(9/10秋田庄内方面)

**感染症対策は**  
町長 感染リスクが高まった場合は、駅での検温等の対策も講じる考え。また町内の飲食店、宿泊施設などを対象に新生活様式対応支援事業を実施することにより、感染症拡大予防策を進めている。

**教育環境のあり方**  
町長 横並びではなく、国や県に横並びではなく、独自の判断を。教育長 横並びにしなければならぬものと、町独自で実態に応じて判断して進めていくもの両面があり、町独自の判断でやってきたものがたくさんある。子ども達の健全育成という観点からも町の情勢・実態という視点を大事にして学校や地域と連携をとっていく。

# 町の考えを問う

## 5 議員が一般質問

今野 雅信 議員

- ◆災害時における情報伝達と避難のあり方
- ◆感染症予防と経済活動の両立をどのようにしていくか
- ◆今後の教育環境のあり方、作り方は

13ページ

遠藤 宏司 議員

- ◆災害対策法は国民の命と財産を守る責任は国、県、市町村にあることを明記している。町は大災害を受け、町民の暮らしの安全と安心を守るため、これまでの防災を見直す良いきっかけにするべき

16ページ

大山 二郎 議員

- ◆水害による反省点と今後の対応は
- ◆談合事件及び入札制度改革について

14ページ

二藤部 冬馬 議員

- ◆水害対策で避難所の対応、今後の課題は
- ◆学校の再開後の児童・生徒及び学校における労働環境等の状況はどうか

17ページ

小玉 勇 議員

- ◆7月豪雨の洪水を経験し、大橋をどうするべきか現実的に考える時期が到来した。今後国や県との話し合いはあるのか
- ◆メガソーラー建設はどうなったのか。町の公式見解について賛否を含め発表すべきでは
- ◆汚職事件の判決も確定した。町の損害はどのくらいになるのか

15ページ

### 一般質問とは…

大石田町の様々な課題等について、議員が町に考えを聞くことを言います。質問内容は議案とは関係なく議員が自由に決めます。議席は対面式になっており、町長と向かい合い質問します。1人当たりの持ち時間は1時間です。



写真の撮影上、町長も議員もマスクを外しておりますが、答弁の際はマスクを着用しております。



# 条例の制定は 考えていないのか

小玉 勇 議員

## 事後条例となり適当ではない

町 長



試験設置中のソーラーパネル  
(次年子地区)

**メガソーラー**  
山林、里山から緑をほぎ取ってパネルを並べることは、環境保全につながるとは思えない。話が持ち上がったから3年、どうなっているのか。  
町長 昨年8月事業者から町に対して、県の条例に基づく環境影響評価方法書の送付があり、9月に知事から町に対し意見提出が求められた。それを受け専門家で構成する審査会を開き、11月知事に対して、町指定天然記念物であるギフチョウ及びヒメギフチョウの「き損」回避の要求など35項

目の意見書を提出した。その後今年2月知事は事業者に対し記載が不十分であるとして18項目にわたる意見が通知されている。しかし、現在も事業者からの提出はない。  
町の公式見解の発表や条例制定の考えはないのか。  
町長 法令や県条例の定めに従って手続きを進めているが、公式見解の発表は現時点としては、判断できる内容に乏しく尚早と考えている。  
また、条例の制定については事後条例になることから適当ではないと思っている。今後、注意深く見極めながら慎重に判断していく。

**汚職事件**  
判決も確定し損害賠償請求など今後どうするのか。  
町長 8月28日山形建設に対し、弁護士を通して工事請負契約の規定に基づく違約金4億6500万円(虹のプラザ分4億800万円と消防分署分5700万円)を請求した。  
違約金は全額町の収入になるのか。  
町長 交渉は非常に難しく、全て弁護士に委ねるしかない。最終的にどれほどの金額になるかわか



整備された階段から望む  
(虹のプラザ東面)

らない。交渉を見守っている状況。  
なお、違約金はすべて国に償還するので町の収入になるわけではない。  
町民に対する損害はあるのか。  
町長 借り入れた地方債(借金)の償還(返済)については、総務省からこれまでの算定方法と変わらないとの見解が示されているが、最終的な結論ではないので、確定したと言いきれない状況にある。今後とも県を通して情報を入手し適切に対応していく。



常設の水中ポンプ(参考資料)

**水害の反省点は**  
国交省の水位予測が出た時、直ちに対策本部を立ち上げれば、避難勧告・指示をもっと早く出せたのでは。  
町長 町避難勧告は本部を立ち上げる前に出していたが、住民の危機意識を高めるまでにはいかなかった。今後、今回の経験を踏まえ対応していく。  
今回越水した、豊田地区や五十沢川の築堤等はどうしていく。  
町長 豊田地区については、水源地を守るためにも築堤の要望書を東北地方整備局に提出している。応急措置として大型

**今後の対応**  
内水での被害を防ぐため、独自に水中ポンプの設置が必要と思うが。  
町長 必要箇所にそれぞれ水中ポンプを配置しようと思いを。県でも可動式のポンプを準備するというので協議していく。  
水中ポンプを設置すればかなり被害を減らすことができる。補助金等も活用し、来年度予算で実現してもらいたい。



クリーンな入札制度を

**入札制度改革**  
二度の不祥事で、また改革をしなければならなくなったが、その内容は。  
町長 再発防止策として改革に着手しており、条件付き一般競争入札を導入する予定。現在、条件等について最終の詰めを行い、間もなく示すことができる。

一般競争となれば、町内業者は参入できなくなる。町内業者を育成していくためにも、JV方式等、町内業者が実績を残せるようにし、町内業者の体質強化を促進する必要があると思うが。  
副町長 指名業者選定審査会の場を借りて検討している。再発防止策は、対外的に説明でき、競争を確保する仕組みでなければいけない。また、地元企業の受注機会の確保も考えていく。  
町長 町の業者の育成は常日頃から言っている。今後もそれは変わらない。



# 水害の反省と今後の対応は

大山二郎 議員

## 築堤・水中ポンプ等 国県と協議する

町 長

土嚢を配備してもらう。五十沢川は県管轄のため、関係者から視察を受け、引き続き協議をしていく。

町長 活用できそうな補助事業もあるようなので、国と協議しながら進めていく。





# 避難所の対応 今後の課題は

二藤部 冬馬 議員

## 避難所の運営は 非常に困難だった

町 長



携帯電話は今や命綱!

**避難所の対応**  
水害時の避難所対応はどうか。  
町長 コロナ禍における避難所運営は非常に困難であり、避難者の3密回避は難しかった。  
**今後の課題は。**  
町長 資機材の充実、ボランティアの活用、自主避難を積極的にお願いするなどの取組みを進めていくことが重要。  
氾濫危険水位の中、一時帰宅してしまう避難者もいたが、情報伝達・共有はどうだったか。

町長 避難所においては、水位・災害状況等の情報が届かず、不安であったとの声もある。安心できる仕組みを確立していきたい。防災放送のテレフオンサービス等も検討している。  
総務課長 エリアメールは制約があり、水位等の情報は入れられないが、SNS等を使って情報を提供する必要がある。  
**段ボールベッドの保管場所。**  
町長 車庫、消防分署、虹のプラザ等を検討しているが、避難所にあるのが一番であり、教育委員

会とも話を進めていく。  
教育長 保管できる数や場所も含め、各学校に検討してもらっている。子ども達の活動場所を狭めてまで保管することは考えていない。  
無料WiFi、充電器、テレビ等の資材確保は可能か。  
総務課長 業者等と相談し、必要な時、すぐに準備できるように検討していきたい。



3密回避は難しい(中学校体育館)7/29午前

**教職員の労働環境**  
教職員の超過勤務等、労働環境の状況は。  
教育長 超過勤務への意識も高まり、昨年と比較しても減少が見られる。超過勤務等の状況がもとに返ることのないよう、進めていきたい。



いざざわ 五十沢川からの越水による被害(今宿地区)



# 大災害を受け 家屋や施設をどう守る

遠藤 宏司 議員

今後、築堤等を強く要望していく

町 長

### 住民の立場で河川管理

国や県と今後どのように協議していくのか。  
町長 河川の水位上昇により住居浸水や農地冠水の被害があった。河道掘削や支障木の伐採等適正な河川管理が必要。溢水が発生した箇所の築堤とこれら原因を究明することでの有効な対処事業の早期実施について、国や県に強く要望していく。  
豊田地区や今宿地区の溢水したところに堤防を整備し、家屋や上水道の水源井戸等を水没から守り、断水が起きないようにすべき。  
町長 豊田地区浸水につ

いては最高水位を考慮した築堤を要望し、応急対応として早急に大型土嚢を設置するよう要望している。今宿地区の浸水は五十沢川の上流の越水によるもの。堤防の嵩上げ等、県に要望している。  
金川や下の川、川端地区の内水処理は、排水能力が十分にある常設の排水施設が必要ではないか。  
町長 金川については常設の整備は難しいとの判断。排水ポンプ車の増強を継続して要望している。  
下の川については、湛水防除事業があるが、24時間冠水が継続する箇所や、農作物被害が甚大であることが条件となり、



金川から内水の排水作業(7/29)

**障がい者への配慮**  
高齢者や視覚・聴覚に障がいのある方へ、情報の伝達方法や避難の支援、災害後の生活支援を、今後どのように取り組んでいくのか。

町長 いろいろな意見をいただいている。今回は十分とはいえない状況であった。伝達が難しい方や自力で避難が難しい方のリフト化を行い、確実に伝わる方法を検討する。関係機関や団体と協力しながら、共助の機能を活かした避難支援に取り組みたい。今後もしっかりと高齢者や障がいのある方を見守っていく。

# 7月豪雨災害後に議員現地視察



農地への被害は甚大(駒籠鯉巻地区)

8月12日、7月豪雨災害後の被害状況を議員全員で現地視察を行った。産業振興課長から今回の水害による農地や農作物への被害が大きいとの説明を受けた。駒籠鯉巻地区の転作田では、最上川の溢水により土砂が流れ込み、大量の土砂が堆積していた。転作として一部作付けされていたソバは全滅。今後は、堆積した土砂を撤去し、現状復旧に努めるとのこと。一日も早い復旧を望む。【記 岡崎】

## 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

全員賛成

◆要約◆

新型コロナウイルス感染症の拡大が、経済的社会的影響をもたらしている中、今後、地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想される。地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実に向け強く国に要望する。



### 提出先

衆議院議長・参議院議長  
内閣総理大臣・財務大臣  
総務大臣・厚生労働大臣  
経済産業大臣・内閣官房  
長官・経済再生担当大臣  
まち・ひと・しごと創生  
担当大臣

## 議会を傍聴しませんか

◆次回の定例会は◆

12月10日(木)~12月16日(水)の予定です。

マスク着用のうえ、おいでください。

議会だより号外は12月10日発行します



## 教育委員会委員の任命に同意

井上清さん(横山)を教育委員会委員として任命することに全員が同意しました。任期は令和2年10月1日から4年間。

### 表紙の写真

9月5日に行われた「大石田中学校運動会」の一コマ。コロナ禍の中、開催が危ぶまれた運動会。中学校生活の貴重な思い出の一コマになる運動会を無事に開催することができた。

開会時間を早め、午前中で例年通りのプログラムをこなす、30℃を超える気温の中、生徒達の熱い戦いが繰り広げられた。結果は、赤組の総合優勝。白組は看板賞を獲得するも惜敗。

どんな環境の中でも全力で挑む大中生の姿を見ることができた。【記 今野】

### 165号の訂正

議会だより165号で農業委員の任命に同意の欄中

(正) 笹原 剛さん(鷹巣1)

(誤) 笹原 剛さん(鷹巣2)  
地区名が誤っておりました。お詫びして訂正いたします。

# 追跡! あれはどうなった?

新型コロナウイルス感染症対策の一つとして  
大石田町議会議場が整備されることになりました!

## 議場のインターネット配信実現!

「開かれた議会」のために政策提言書で長年訴えてきた、議場のインターネット配信がよいよ実現することとなった。先の7月臨時会において補正予算が可決され、今後システムやソフトを検討しながら、年度内の配信開始を目指す。

現在の議会傍聴は、マスク着用の上、検温し、手指の消毒をしての入場となっている。席は間をあげ、私語も謹んでいただいている。そのような不便をおかけしていた状態だったが、今後は各家庭のパソコンで生中継はもちろんのこと過去(配信後)の映像も遡って視聴することができる。

密を避ける昨今の「新しい生活様式」の観点からしても、有効に活用していきたいものだ。議員も多くの町民に見ていただいていることを肝に銘じ、更なる緊張感をもって議会に臨まなければならない。【記 岡崎】

### 町民の声 有路 保夫さん(井出)

9月議会を傍聴したが、議員も町長もマスクをしているせいもあり、聞き取れない発言が多かった。

これからの「開かれた議会」を考えれば、インターネット配信は大変良い事だと思う。

### 町民の声 遠藤 史夫さん(曙町)

議場で発言する議員や職員のスキルアップを求められることにもつながり、リアルタイムで発信できるのは良いこと。

これを機会に「反問権」についても検討してみてもどうですか。



最新のマイクは聞きやすい(尾花沢市議会「議場」)



自宅のパソコンから見るができます

令和3年3月から  
配信予定です  
もう少しお待ちください